

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 福岡県大牟田市立倉永小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒837-0906
福岡県大牟田市大字倉永1307番地

E-mail : kuranaga-es@st.city.omuta.fukuok.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 120名 女子 108名 合計 228名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1年 「むかしあそびをしよう」(伝統文化・福祉教育)

「こま・竹馬・竹とんぼ・おはじき・お手玉・けん玉・羽子板・めんこ・まりつき」など、昔から伝わる遊びや自分たちの知らない遊び、その遊び方のコツを1年生の祖父母をゲストティーチャーとして招き、教えてもらった。学習後も、雨の日などには、子どもたち同士でできるようになった昔遊びのコツを教え合いながら楽しく遊んでいた。

2年 「ぐんぐんのびろ」(食育)

春との違いを見つけるために、秋・冬見つけの探検で、学校の近くのグッディに寄り、その時に、冬野菜の苗ものや種を見つけ、買って来た。袋にかいてある育て方を参考にし、畑の耕しから種まき、肥料や水やり、間引きや草とり、収穫という一連の食材を育てる体験をした。途中途中で、野菜による葉の違いや背丈等の変化を観察した。栽培の大変さや収穫の喜びを味わわせ、自分で作ったものを食することで食の大切さも学んだ。

3年 「ワクワドキドキお話探検隊」(思いやりの心・人権)

読み聞かせボランティア「朗読座」の方を招き、読み聞かせの仕方を学んだ。そして、学んだことを生かして、入学説明会で来校する来年度が喜ぶような読み聞かせ会を計画させ、各班、役割を決めたり小道具を作ったりして練習に取り組んだ。読み聞かせが終わって、相手が喜ぶにはどんな関わり方が大切かを考えさせた。

4年 「日本の文化に親しもう」(伝統文化)

和太鼓については、GTを招いて、太鼓の歴史やたたき方を教えてもらい、学習発表会において4年生全員で神龍太鼓を披露した。

お茶(茶道)では、GTを招き、お茶の歴史を学んだり、実際にお茶をたてたりして、日本の伝統文化のよさを体験した。

5年 「倉永 ふるさと 再発見！」(環境・福祉教育)

地域の良さを見つけるために、地域の人材を活用して、調べ学習を行った。倉永校区には、他にない自慢できることがたくさんあることを知った。そして、その課題もまた学習した。このことを大牟田市文化会館で発表を行い、発信していくことの大切さを学んだ。次に、地域の人々から、5年生に取り組んでほしいことの願い、倉永に住む人々の思いを覚えてもらい、認知症のお年寄りが多いことを知った。その方達にできることは何かについて考えた。

6年 「認知症ってなあに」(福祉)

認知症についての学習を専門家を交えて学習をした。その学習を生かして老人施設へ訪問した。お年寄りのかたと仲良くすることを目的とした。また音楽を通しての交流も行った。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()